

江 監 第 6 号  
令和5年3月28日

江 田 島 市 長 明 岳 周 作 様

江田島市議会議長 吉 野 伸 康 様

江田島市監査委員 三 浦 和 英  
江田島市監査委員 濱 西 金 満

財政援助団体等に対する監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等に対する監査を実施したので、同条第9項、第10項の規定に基づき、その結果及び意見を報告します。

令和4年度

財政援助団体等監査報告書

江田島市監査委員

# 目 次

	ページ
第1 監査の概要	1
1 監査の種類	1
2 監査の対象	1
3 監査の期間	1
4 監査事項	1
5 監査の方法	1
第2 監査の結果	1
1 江田島市商工会	1
2 江田島バス株式会社	8
第3 終わりに	14

## 第1 監査の概要

### 1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

### 2 監査の対象

- (1) 江田島市商工会
- (2) 江田島バス株式会社

### 3 監査の期間

令和4年11月24日から令和5年3月28日まで

#### (1) 所管課監査実施日

令和4年12月26日 企画振興課, 交流観光課

#### (2) 団体監査実施日

令和5年1月12日 江田島市商工会

令和5年1月19日 江田島バス株式会社

### 4 監査事項

地方自治法第199条第7項の規定により、「市が補助金, 交付金, 負担金, 貸付金, 損失補償, 利子補給その他の財政的援助を与えているものの出納その他の事務の執行で当該財政的援助に係るもの」について, 当該財政的援助の目的に沿って適正に執行されているかについて監査する。

### 5 監査の方法

令和2年度及び令和3年度の決算書並びに団体から市に提出された事業報告書を対象とし, 財政援助等に係る出納その他の事務の執行状況について, 必要な資料の提出を求め, 現地調査を実施し, それぞれの責任者及び担当者から経理等について聴取するとともに, 関係書類の抽出検査により監査を行った。

監査に当たっては, 江田島市監査基準に準拠して実施した。

## 第2 監査の結果

### 1 江田島市商工会

(1) 団体の概要

所在地	本 所：江田島市江田島町小用二丁目 17 番 1 号
	能美支所：江田島市能美町鹿川 2011 番地 2
	沖美支所：江田島市沖美町三吉 2776 番地 10
	大柿支所：江田島市大柿町大原 1118 番地 2
創 立	平成 20 年 4 月 1 日
役 員	会 長 1 名
	副 会 長 2 名
	筆頭理事 1 名
	理 事 18 名
	監 事 2 名 (令和 4 年 3 月 31 日現在)
事 務 職	事 務 局 長 1 名
	経 営 指 導 員 5 名
	補 助 員 3 名
	記帳指導職員 3 名
	臨 時 職 員 1 名
沿 革	旧江田島町，旧能美町，旧沖美町，旧大柿町の合併による新市誕生により，平成 20 年 4 月 1 日，旧四町の商工会が合併して，江田島市商工会となった。
目 的	地区内における商工業の総合的な改善発達を図り，あわせて社会一般の福祉の増進に資し，もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商工業に関し，相談に応じ，又は指導を行うこと。</li> <li>2 商工業に関する情報又は資料を収集し，及び提供すること。</li> <li>3 商工業に関する調査研究を行うこと。</li> <li>4 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</li> <li>5 展示会，共進会等を開催し，又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</li> <li>6 商工業に関する施設を設置し，維持し，又は運用すること。</li> <li>7 商工会としての意見を公表し，これを国会，行政庁等に具申し，又は建議すること。</li> <li>8 行政庁等の諮問に応じて，答申すること。</li> <li>9 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</li> <li>10 商工業者の委託を受けて，当該商工業者が行うべき事務(その従</li> </ol>

	業員のための事務を含む。)を処理すること。
	11 広島県商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。
	12 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。
	13 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
	14 輸出品の原産地証明を行うこと。
	15 前払式証票の発行業務を行うこと。
	16 外国人研修生の受入に関する事業を行うこと。
	17 全国商工会会員福祉共済事業を行うこと。
	18 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	市の所管課
商工会事業補助金	7,850,000 円	9,400,000 円	交流観光課
プレミアム付き商品券補助金		41,436,000 円	交流観光課

(3) 事業の状況（補助事業分）

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でみなとオアシスえたじま等の多くの事業が中止となった。そのため令和2年度については地域総合振興事業として江田島観光グルメガイドを10,000部増刷、江田島市の飲食店案内WEBサイト「えたじまごはん」の配信、特産品等の販路拡大のためのオンライン型首都圏バイヤー商談会の開催等、感染拡大の影響を最小限に抑えつつ行える事業に注力した。

令和3年度については、地域総合振興事業として3回目となるえたじまブランドの認定を行い、カタログやホームページの改版を行った。さらに江田島市プレミアム付き商品券を販売することによって、市内の消費を後押しした。使用された商品券のうち、約1億円は地元の商工業者で使用されている。

また、販路拡大のため展示会等に積極的に参加した一方で、商工会内の会議については持ち回りやZOOMを用いて費用の削減に努めている。

定例の事業としては当市、市社会福祉協議会、市商工会の共同で行う移動販売事業や会員加入促進月間の実施、平成30年度から継続している空き店舗調査などが行われた。

## (4) 収支の状況

収支決算書（商工会補助対象分）

（単位：円）

項目	令和2年度	令和3年度
補助金等収入	7,850,000	9,400,000
市補助金	7,850,000	9,400,000
収入合計	7,850,000	9,400,000
職員設置費	3,400,000	3,510,000
経営改善普及事業指導事業費	0	0
地域総合振興事業費	4,110,000	5,594,000
総合振興費	3,570,000	5,064,000
商業振興費	0	50,000
工業振興費	0	0
特産品・観光振興費	0	0
金融対策費	0	0
経営・税務対策費	170,000	170,000
労務対策費	50,000	50,000
青年部・女性部対策費	200,000	200,000
商工貯蓄共済等事業推進費	10,000	0
一般共済事業推進費	10,000	0
中小企業景況調査事業費	0	0
情報化対策費	30,000	40,000
記帳機械化等対策費	20,000	20,000
地区振興費	50,000	0
創業事業者支援事業	0	0
管理費	340,000	296,000
支出合計	7,850,000	9,400,000

貸借対照表（一般会計）

（単位：円）

項目	令和2年度	令和3年度
現金	25,920	23,797
預金	11,163,974	9,165,511
未収金	2,402,500	365,000

	仮払金	4,935	0
	立替金	0	0
	前払金	134,896	60,500
	流動資産計	13,732,225	9,614,808
	商工会特別引当預金	15,973,138	15,973,456
	役員退任慰労引当預金	240,000	260,000
	資産取得引当預金	9,515,891	9,516,081
	周年事業引当預金	0	0
	その他引当金	3,000,000	5,000,150
	預り敷金引当預金	0	0
	引当資産計	28,729,029	30,749,687
	土地	0	0
	建物	38,059,819	36,116,580
	車両運搬具	4	110,001
	器具備品	1,549,693	2,209,944
	電話加入権	381,320	381,320
	権利金等	6,000	6,000
	出資金	116,590	117,670
	固定資産計	40,113,426	38,941,515
	資産合計	82,574,680	79,306,010
	未払金	4,826,212	2,302,058
	預り金	1,402,834	636,793
	仮受金	43,000	900
	借入金	0	0
	流動負債計	6,272,046	2,939,751
	商工会特別引当金	15,973,138	15,973,456
	役員退任慰労引当金	240,000	260,000
	資産取得引当金	9,515,891	9,516,081
	周年事業引当金	0	0
	その他引当金	3,000,000	5,000,150
	預り敷金引当金	0	0
	引当勘定計	28,729,029	30,749,687



	土地残高	0	0
	建物残高	38,059,819	36,116,580
	車両運搬具残高	4	110,001
	器具備品残高	1,549,693	2,209,944
	電話加入権残高	381,320	381,320
	権利金等残高	6,000	6,000
	出資金残高	116,590	117,670
	残高勘定計	40,113,426	38,941,515
	負債合計	75,114,501	72,630,953
	次期繰越収支差額	7,460,179	6,675,057
	合計	82,574,680	79,306,010

収支決算書（プレミアム付き商品券事業）

（単位：円）

項 目		令和3年度
	プレミアム付き商品券販売	126,360,000
	市補助金	41,436,000
	収入合計	167,796,000
	プレミアム付き商品券回収	163,550,000
	商品券印刷費	1,056,000
	広報費	266,574
	委託料	930,450
	郵送費	68,120
	事務費	1,705,485
	支払手数料	219,371
	支出合計	167,796,000

(5) 監査結果

- ア 補助対象経費は、人件費として記帳関係職員、臨時職員の人件費と出向負担金（事務局長、経営指導員、補助員）、事業費として地域総合振興事業費の一部、管理費として事務費分である。
- イ 補助金は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認める。
- ウ 補助対象事業の収支状況は、決算書に沿っており適当と認める。しかし、収支

内訳について増減があった場合は、より詳細な説明の記載を求む。

エ 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。

オ 事業計画書，予算書，決算書は，江田島市へ提出された補助金等の交付申請書，実績報告書の数値と相違ないと認める。

カ 補助金等交付申請書の請求金額及び，受領金額は適正に処理されている。提出時期については補助金要綱様式に沿った改善をされたい。

キ 江田島市プレミアム付き商品券発行事業に係る補助金については，江田島市プレミアム付き商品券発行事業補助金交付要綱の規定により，適正に処理されている。

#### (6) まとめ

令和4年3月31日時点において商工会会員は661名であり，組織率は63.51%です。事業者全体の数が減っているものの，近年の会員数は増加傾向にあります。理由としては，新型コロナウイルス感染症に係る国からの通知等の相談により，商工会の認知度が高まったものと考えられます。今後も広報により商工会事業の認知度を上げ，サービスを必要とする事業者へ活動内容が届くようにしてください。

また，江田島市の中小企業においては，人口減少や経営者の高齢化といった懸念はもとより，新型コロナウイルス感染症や物価高騰等によって更に厳しい経営環境が続いています。今後も江田島市の経済振興のため，起業希望者への支援や既存事業者の改善指導により，質の高い商品とサービスを生み出す後押しが必要です。

## 2 江田島バス株式会社

### (1) 概要

所在地	江田島市大柿町飛渡瀬 80 番地 1		
創立	昭和 62 年 12 月 9 日（平成 20 年 4 月 1 日社名変更）		
資本金及び 資本剰余金	資本金	1 億円	
	資本剰余金	1 億 7 千万円	合計 2 億 7 千万円
発行済株式 総数	5,400 株		
株主	株主名	所有数	所有比率
	江田島市	5,280 株	97.78%
	株式会社広島銀行	40 株	0.74%
	自己株式(江田島バス)	80 株	1.48%
役員	代表取締役	1 名	
	常務取締役	1 名	
	顧問（非常勤）	1 名	
	取締役（非常勤）	1 名	
	監査役（非常勤）	1 名	
	従業員 総務課	2 名（うち嘱託 1 名）	
	運行課	22 名（うち嘱託 14 名）	
	（令和 4 年 12 月 1 日現在）		
沿革	昭和 62 年 12 月 9 日に能美バス株式会社として発足後、呉市交通局江能線（江田島・大柿地区）の撤退に伴い、当該路線及び能美バス路線（沖美・能美地区及び大柿地区の一部）を引き継いで、平成 20 年 4 月 1 日に、江田島バス株式会社と社名変更した。国内旅行業は平成 19 年 3 月 31 日に、海運部は平成 24 年 3 月 31 日に廃止となっている。		
事業	一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス） 一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス・スクールバス）		

### (2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	市の所管課
生活交通路線維持費補助金	69,503,000 円	61,158,000 円	企画振興課
広域生活交通路線確保維持費 補助金	11,033,000 円	9,929,000 円	企画振興課

公共交通支援補助金	3,400,000 円	3,400,000 円	企画振興課
通学定期券購入補助金	806,200 円	920,700 円	企画振興課
江田島バス株式会社出資金	出資金現在高 264,000,000 円		企画振興課

### (3) 事業の状況

一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス事業）については、第33期（R1.10.1～R2.9.30）は、市内5路線33系統（うち切串・秋月の2路線は休止中）で、バスの走行実績は、乗合、みなし4条合わせて、496,572.0 km、第34期（R2.10.1～R3.9.30）は市内5路線29系統（うち切串・秋月の2路線は休止中）で、バスの走行実績は、乗合、みなし4条合わせて、514,459.2kmの旅客運送を行っている。

一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス事業）は、研修、レクリエーション、葬儀等でマイクロバス又はバスの一般貸切り運行を行っている。スクールバスは、市教育委員会との運転業務委託契約によるものである。

※みなし4条：一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス事業）の許可を受けている事業者を、一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス事業）について道路運送法第4条第1項の許可を得たとみなすことができる路線のことを指す。

## (4) 経営の状況

## ア 損益計算書

(単位：円)

項 目	第 33 期	第 34 期
	R1. 10. 1～R2. 9. 30	R2. 10. 1～R3. 9. 30
純売上高	100,327,641	103,211,841
普通運賃	36,018,410	39,289,304
定期運賃	26,395,650	28,588,952
回数運賃	3,143,380	0
貸切運賃	34,190,012	34,663,750
広告料	400,000	400,000
受取手数料	180,189	269,835
販売費及び一般管理費	211,610,270	203,892,186
人件費	139,417,726	134,543,377
軽油費	14,435,374	16,278,104
修繕費	13,997,693	12,966,631
保険料	2,965,750	2,097,810
減価償却費	22,616,779	22,791,324
その他	18,176,948	15,214,940
営業利益（△は営業損失）	△ 111,282,629	△ 100,680,345
営業外収益	96,715,590	90,012,725
受取利息	2,556	2,326
受取補助金	93,724,000	89,140,000
雑収入	2,989,034	870,399
営業外費用	2	14
雑損失	2	14
経常利益（△は経常損失）	△14,567,041	△10,667,634
特別利益	20,631,548	16,034,425
固定資産売却益	302,018	350,949
貸倒引当金戻入益	39,530	31,526
受取補助金	20,290,000	15,651,950
特別損失	20,453,836	0
固定資産除却損	163,836	0
固定資産圧縮損	20,290,000	0
税引前当期純利益（△は損失）	△14,389,329	5,366,791
法人税，住民税及び事業税	689,286	296,853

当期純利益（△は当期純損失）	△15,078,615	5,069,938
----------------	-------------	-----------

イ 貸借対照表

(単位:円)

項 目	第 33 期 R1. 10. 1～R2. 9. 30	第 34 期 R2. 10. 1～R3. 9. 30
流動資産	214,670,694	237,557,697
現金及び預金	195,950,174	230,428,722
貯蔵品	222,000	166,000
前払費用	0	0
立替金	19,570	4,270
未収入金	6,904,078	6,991,151
未収還付税金	11,606,398	0
貸倒引当金	△ 31,526	△32,446
固定資産	127,947,407	106,396,081
有形固定資産	122,137,278	101,018,034
建物	19,383,607	18,468,182
建物付属設備	6,750,445	6,241,082
構築物	9,401,096	8,286,603
車両運搬具	20,405,275	11,306,185
工具器具備品	1,049,539	870,550
リース資産	65,147,316	55,845,432
建設仮勘定	0	0
無形固定資産	5,327,789	4,895,707
ソフトウェア	1,407,453	1,897,803
システム分担金	3,920,336	2,997,904
投資その他資産	482,340	482,340
リサイクル預託金	482,340	482,340
繰延資産	170,000	130,000
加盟金	170,000	130,000
資産の部合計	342,788,101	344,083,778
流動負債	5,079,181	13,004,080
未払金	3,717,946	5,166,712
前受け金	0	31,900
源泉預り金	231,848	224,579
社保預り金	665,887	405,389

	住民税預り金	315,200	301,400
	未払法人税等	148,300	296,500
	未払消費税等	0	6,577,600
	固定負債	70,194,960	58,495,800
	リース債務	70,194,960	58,495,800
	負債の部合計	75,274,141	71,499,880
	株主資本	267,513,960	272,583,898
	資本金	100,000,000	100,000,000
	資本金	100,000,000	100,000,000
	資本剰余金	170,000,000	170,000,000
	資本金減少差益	170,000,000	170,000,000
	利益剰余金	△406,040	4,663,898
	繰越利益剰余金	△406,040	4,663,898
	自己株式	△2,080,000	△2,080,000
	自己株式	△2,080,000	△2,080,000
	純資産の部合計	267,513,960	272,583,898
	負債及び純資産の部合計	342,788,101	344,083,778

第33期決算による財務状況は、資産では流動資産 214,670,694 円（うち現金及び預金 195,950,174 円、未収入金 6,904,078 円）、固定資産 127,947,407 円、資産合計 342,788,101 円となっている。これに対して負債・純資産は、流動負債 5,079,181 円（有利子負債なし）、固定負債は 70,194,960 円、純資産は 267,513,960 円である。

財務の流動性、安全性をみるための財務比率は、流動比率 4,226.5%（200%以上が理想）で資金繰りについては良好であり、当座比率 4,222.3%（100%以上が望ましい）と支払資金の調達についても良好な状態である。

損益については、純売上高 100,327,641 円で、これに対して販売費及び一般管理費 211,610,270 円で、差引 111,282,629 円の経費超過となっている。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費 139,417,726 円、減価償却費 22,616,779 円、軽油費 14,435,374 円となっている。

第34期決算による財務状況は、資産では流動資産 237,557,697 円（うち現金及び預金 230,428,722 円、未収入金 6,991,151 円）、固定資産 106,396,081 円、資産合計 344,083,778 円となっている。これに対して負債・純資産は、流動負債 13,004,080 円（有利子負債なし）、固定負債は 58,495,800 円、純資産は 272,583,898 円である。

財務の流動性、安全性をみるための財務比率は、流動比率 1,826.8%（200%以

上が理想)で資金繰りについては良好であり、当座比率 1,825.7%(100%以上が望ましい)と支払資金の調達についても良好な状態である。

損益については、純売上高 103,211,841 円で、これに対して販売費及び一般管理費 203,892,186 円で、差引 100,680,345 円の経費超過となっている。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費 134,543,377 円、軽油費 16,278,104 円、減価償却費 22,791,324 円となっている。

## (5) 監査結果

### ア 補助金

- (ア) 補助金等は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認める。
- (イ) 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
- (ウ) 期首及び期末における現預金の残高について、現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
- (エ) 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。
- (オ) 生活交通路線維持費補助金及び広域生活交通路線確保維持費補助金は、江田島市バス運行対策費補助金交付要綱の規定により、適正に処理されている。
- (カ) 公共交通支援補助金は江田島市公共交通支援補助金交付要綱により、適正に処理されている。

### イ 出資金

- (ア) 本市は、江田島バス株式会社に出資しており、株式の 97.78%の 5,280 株を所有している。江田島バスでは設立当初の目的に沿った交通事業者としての事業運営が適切に行われている。
- (イ) 会計管理者は、株券を良好に保管している。
- (ウ) 本市副市長が非常勤の取締役になっており、取締役会での各種審議を通して出資者としての権利行使が行われている。

## (6) まとめ

江田島バスは江田島市唯一のバス会社ですが、人口減少等により利用率は高くありません。しかし高齢者が人口の 4 割を占める江田島市において、なくてはならない交通インフラです。まちづくりとも密接な関係があるため、市民の生活基盤の担い手として自覚を持って事業に臨んでください。



令和2年から令和4年にかけては新型コロナウイルス感染症の影響を受け、広島市内のバス会社では7割ほど収入が落ち込んだ所もありました。江田島バスももともと収入が少なかったとはいえ、第33期、第34期については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、営業収入が1割ほど落ち込んだものの、影響は比較的少なかったといえます。また、江田島市地域公共交通計画によると、新型コロナウイルス感染症の流行前である令和元年でさえ、観光客のバス利用割合は5%ほどとされており、バスの利用者の大半は生活交通利用者だと考えられます。バス内の掲示やホームページだけではなく普段バスを利用しない市民や、観光客を対象とした広報が必要となっています。

第33期については、新型コロナウイルス感染症による収入減少と「PASPY」の導入、施設の移転等が重なり15,078,615円の赤字となったものの、第34期には5,069,938円の黒字となっています。黒字とはいえ、営業赤字部分に国、県及び市の補助金を充当しての黒字であるため、費用の削減と更なる利用者の獲得に向けた経営努力をお願いします。

「PASPY」の導入により、利用実態について詳細なデータを活用できるようになったため、それに基づいて令和4年12月に大幅なダイヤ改正が行われました。主に航路への接続や利用実態に即した便数の効率化について改善されています。また、第33期より24時間パスのデジタルチケット等に基づいたサービスも展開されています。今後も無理のない範囲でデジタルトランスフォーメーション(DX)を進め、効率的な事業の推進に役立ててください。

今後、令和7年3月の「PASPY」廃止に伴い、新たな決済システムを導入する必要があります。近隣市町の動向を伺いつつ、転換期間や広報周知を混乱なく行えるよう選択、導入してください。

### 第3 終わりに

このたびの監査に当たり、誠意をもって対応していただいた関係者の皆様に対して深甚なる敬意を表します。また、各団体を管轄する関係部局の担当者の前向きな対応に感謝いたします。